

マナちゃんのかから版

マナちゃん&ユウくんの突撃インタビュー

寺西恵里子先生

独りよがりな嫌いな

みんなに知ってもらったりとか、ひとりでも多くの人が自分のモノを作ってくれて、喜んでもらえたら、それがいいなって思ってます

(株)サンリオに勤務し、子供向け商品の企画・デザインを担当。退職後も手芸・料理・工作のデザインなどマルチに活動されている寺西恵里子先生。マナちゃん、生みの親でもある先生に、手芸に対する熱い想いを、マナちゃん&ユウくんがインタビュー！

マナ せんせいはいつからしゅげいをはじめたの？

先生 作るのはずっと小さい時から。思い返すとルーツは小さいときにありますよね。

ユウ デビューのきっかけは何ですか？

先生 まだ学生の時、先生にスケッチブックを持って出版社へ行きなさいって言われて、何で行くのかも分からず行ったら、その場でお仕事をもらったんです。マナ すげいにゃん！

先生 突然言われて急に決まったから、その日のうちにいきなり想像もしてない世界がバツて広がったんです。そんな始まりだったから、結局いつも見えないものに突き進むっていう感じで、人が作った後を動くんじゃないって、割と何でどうなるの？みたいなところまでやってきました。だから、すごい無茶振りされてもなんとかがやろうって思うんですよね(笑)

マナ いままでやったことがないことにチャレンジしてきたのよ？

先生 そうですね、例えば、子どもの手芸でも自分はどうやって遊んでたけど、みんなはどうやって遊んでるんだろとか、単に作るだけじゃなく、なんかもつと遊べないかな？って(笑)そつやつつしているんなジャンルにチャレンジすることになったのは、結局キャラクターを通していろんなことをやっていったっていうのはひとつあると思います。

ユウ サンリオはんでの活躍を見てはるから、みなは先生に期待しはるんとすやろなあ。

マナ せんせいはいろんなこといっぱいしててかっこいいにゃん！いちばん好きなのはなにかにゃ？

先生 手芸デザイナーなので、割とどれがっていうより、何やっても楽しいですね。最初にこんなもの作ってみようって思うところが一番好きなの。ひらめきが来る感じが好きなんです。これやったらいいかもとか、かわいいかもとかって言ってね、向かっていくのがすごく好きですね。

ユウ ぼくもそんなひらめきほしいですなあ。作品作るときは、どんな風にしてはるんですか？

先生 いつも何を作るのにもそうなんですけど、コンセプトワークから入るんです。これで何を人に伝えるのかとか、どういうところで共感してもらえるのかっていうところですね。手芸って、2つ役割があると思うんです。1つめは、みんな始めはたぶん自分のために作りますよね。で、2つめは手づくりのすごくいいところで、絶対、誰かにあげたくなる。あげるときってね、なんか変なだけども、その人のことが好きです。よってメッセージだと思ってる。それにかけた時間があったり、作ったものであったり、というところで想いを伝えていけるっていうのはすごくいいなって思ってます。だから、1つめと2つめの役割を意識してデザインしてるんです。

マナ すてきだにゃん♡マナちゃんもユウくんもプレゼントあげるときはきもちいいにゃん！

ユウ ぼくもこめてます。

マナ せんせいのおしごとのテーマをおしえてほしいにゃん。

先生 この数年は、手芸業界にお世話になったから、何かお返しがあったらいいなって、私しかできないことをやりたいなって。自分の中では、手作りの楽しさを伝えるのが、私の使命みたいなものだと思ってます。他の作家さんは、やり始めてその先を提案していくことが多いじゃないですか。きっかけていうのか、やろうっていうハードルを下げることをやる人って、なかなかいないと思うので、そこですね。始

まりが自分の意志で開いた扉じゃなかったから、どっか次があるんじゃないかっていう想いは常にあるんだけど、どこか天命みたいなもので、誰かから選ばれてやってくるんだなって感じがすごいするのね。それですごく好きなことでしょ？だから恵まれてるなって思います。もれなく大変だけどね(笑)でも、人が導いてくれる方向って間違いないなっていつも思っていて、私以上に私のことをみなさん見てくれて、こういうの向いてるよとか、こういうのやったらいいよとかって言うってくれるから、やっぱり人に恵まれてるっていうのは、すごく感じます。どんなにいい物を与えられたり、すごい物があふれてお金もいっぱいもってる...とかあったとしても、たぶんそれだけではさみしいですよ。自分のことを分かってくれる人とか、必要としてくれる人がいてくれるからこそ、生きがいって感じるんじゃないかなって。

ユウ 先生の熱い想い、えらい感動しました！貴重なお話し聞かせてもらって、おおきに。

マナ マナちゃんもかんとしたにゃん。せんせいほんとにありがとにゃん♡

